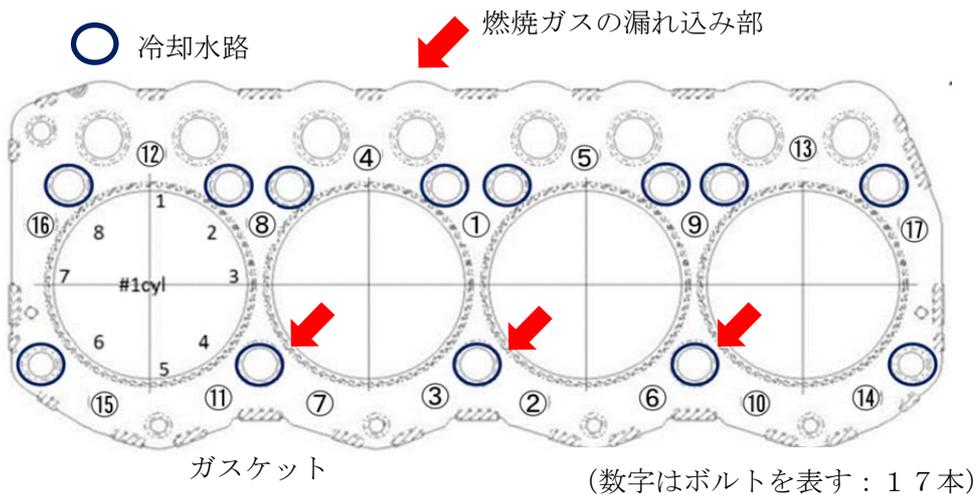
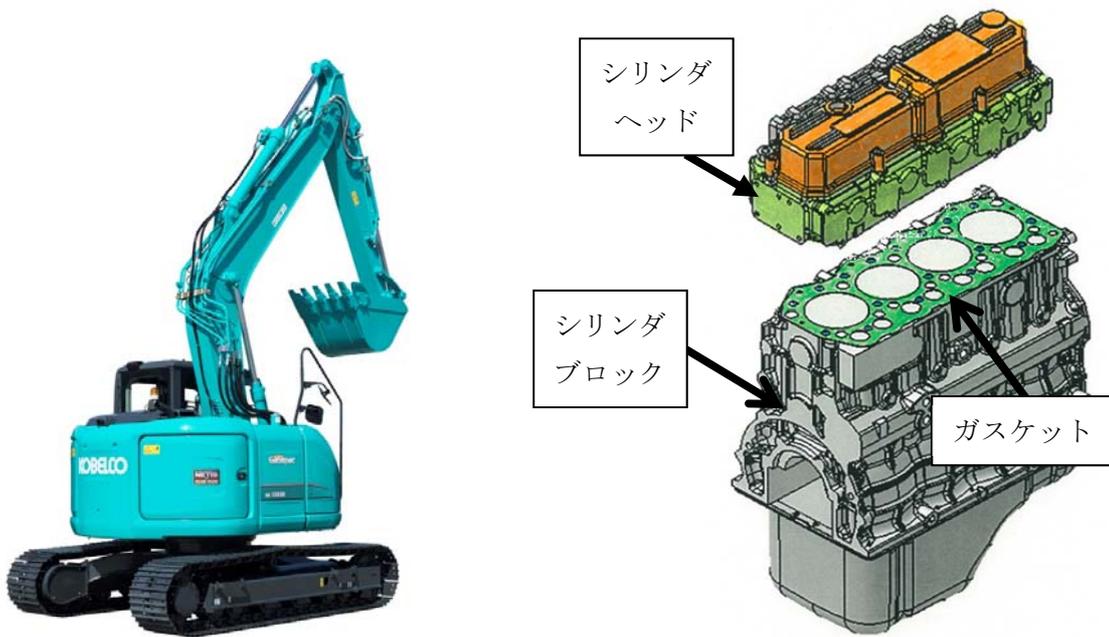


改善箇所説明図



不具合発生箇所

エンジンにおいて、以下の原因により、燃焼ガスが冷却水路へ漏れ込むことがある。

- ① シリンダヘッド取付ボルトにおいて、初期締付力が不適切であるため、シリンダヘッドとヘッドガスケットに摩耗が発生する。
- ② ヘッドガスケットの構造が不適切なため、ヘッドガスケットの摩耗進行により燃焼ガスを十分にシールすることができない。
そのままの状態で使用し続けると、オーバーヒートやヒータ作動不良等の不具合が発生し、また排出ガスがリザーバタンクから外部へ漏出されるおそれがある。

改善内容

対象全車両に対し、実車の状況に応じ、以下いずれかの改善措置を実施する。

- ③ シリンダヘッド及びヘッドガスケットの交換
- ④ エンジン交換

識別

エンジンヘッドカバーに識別シールを貼付する。